

事務事業名	決算調整事務					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部			
施策名	16	行政改革の推進				所属係	会計班	課長名	収入役 上野正勝
基本事業名	55	健全な財政計画の策定				担当者名	木場田可織	電話番号 (内線)	096-248-1111 1102
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 08	事業 09	法令根拠	地方自治法233条1		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
【事業の内容】 地方自治法に定められており、出納閉鎖後3ヶ月以内に決算を調整し、施行令で定める書類と併せて市長に提出する。 【業務の内容】 ①一般会計・5特別会計の一年間の収支について、処理誤り等が無い各課に照合を依頼する。 ②実質収支に関する調書及び財産に関する調書を作成する。 ③財務会計システムにて出力した決算書及び事項別明細書に②を添えて市長に提出する。 【予算の内訳】 時間外勤務手当						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

前年度決算書及び添付書類の作成(合志町・西合志町・合志西合志下水道組合・合志市)

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度に同じ(但し、合志市のみとなる)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

一般会計・5特別会計の決算データ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

法に基づき適正かつ正確に作成することにより、決算状況をわかりやすく理解することができ、また、前年度と比較することができる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

会計事務処理を的確に行うことができ、健全な財政計画をたてることができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 決算書・添付書類の作成に要した日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 決算処理に使用するデータ数	件
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 今年度決算額/前年度決算額(歳入)	%
イ 今年度決算額/前年度決算額(歳出)	%
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 実質収支比率	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費							
	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		223				
	事業費計 (A)	千円	0	0	223	0	0	0
	人件費							
	正規職員従事人数	人		4	5	5	5	5
指標	延べ業務時間	時間		160	140	140	140	140
	人件費計 (B)	千円	0	0	635	556	556	556
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	858	556	556	556
	活動指標	日		90	60	60	60	60
	対象指標	件		35	12	12	12	12
	成果指標	%		102.5	102.5	102.5	102.5	102.5
		%		102.8	102.8	102.8	102.8	102.8
	上位成果指標	%		8.5	8.5	8.5	8.5	8.5

事務事業名	決算調整事務	所属部		所属課	会計課
-------	--------	-----	--	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
地方自治法により定められた事務であり、決算の状況を公表するために開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
・開始当時は手書きによる決算書であったが、現在では財務会計システムから決算書・事項別明細書を出力することができ、事務の軽減が図られた。
・合併直後の平成18年度は、合志町、西合志町及び合志西合志下水道組合の分と新市の分を作成する必要があったが、平成19年度から通常の1市分の作成となる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特に聞いているいない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 意図の「適正かつ正確に作成することにより、決算状況をわかりやすく理解することができる」ことにより、結果の「会計事務処理を的確に行うことができ、健全な財政計画をたてることができる」ことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 法で定められており妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 現状のままで適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 不適切な処理誤りについては出納閉鎖前に、各課で再度処理誤り等がないか確認し修正を行うことで、より正確な決算書を作成することができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 地方自治法に反するため廃止・休止できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 18年度は合志市に加え、旧2町分、合志西合志下水道組合分も作成したので事業費がかさんだが、19年度からは通常に戻るので事業費も削減される。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 18年度は合志市に加え、旧2町分、合志西合志下水道組合分も作成したので事業費がかさんだが、19年度からは通常に戻るので人件費も削減される。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 決算については地方自治法に要領を住民に公表しなければならないとなっており、公平・公正である。

合志市

事務事業名	決算調整事務	所属部		所属課	会計課
-------	--------	-----	--	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

「有効性評価」
・各課で出納閉鎖前に再度処理誤りはないか確認することで誤りは減らすことができる。

「効率性評価」
・18年度は合志市に加え、旧二町分、合志西合志下水道組合分も作成したので事業費がかさんだが、19年度からは合志市のみとなり、作成部数が減るので事業費や人件費は削減できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・不適切な処理誤りは、出納閉鎖前に各課で確認してもらい修正することで決算の処理誤りを減らすことができる。

・19年度からは合志市のみとなり、作成部数が減るので事業費や人件費は削減することができる。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・不適切な処理誤りは、出納閉鎖前に各課で確認してもらい修正することで決算の処理誤りを減らす。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項